

ヒント集 - 試験 00001 (ひかりさん向け)

Q1 のヒント (往復距離) ポイント: 往復 = 片道 × 2 式: 280×2	Q11 のヒント (お金の計算) アルゴリズム的に考える: <code>budget = 500</code> <code>apple_price = 120</code> <code>apple_count = 2</code> <code>remaining = budget - (apple_price * apple_count)</code> <code>orange_count = remaining // 40</code>
Q2 のヒント (数列) パターン認識: 差分: $6-3=3$, $9-6=3$, $12-9=3$ → 等差数列 (公差 3) 次の項 = $12 + 3$	Q12 のヒント (長方形の面積) 公式: 面積 = 縦 × 横 $4 \times 6 = ?$
Q3 のヒント (イギリスの首都・英語) 知識問題: London	Q13 のヒント (分数) 計算: 全体: $\frac{8}{8}$ 食べた: $\frac{3}{8}$ 残り: $\frac{8}{8} - \frac{3}{8} = \frac{?}{8}$
Q4 のヒント (順序関係) 論理的に整理: 太郎 > 花子 > 次郎 > 良子 最小値を求める問題。	Q14 のヒント (英文読解) キーワード: • rises = 上昇する、昇る • east = 東
Q5 のヒント (北海道の道庁所在地) 復習しよう: 漢字の書き取りが課題だね。「札幌」を正確に書けるか確認しよう。 ポイント: 「幌」の字に注意	Q15 のヒント (指数的成長) パターン: Week 0: 10cm Week 1: $10 \times 2 = 20\text{cm}$ Week 2: $20 \times 2 = ?\text{cm}$ 一般化: 10×2^n (n週間後)
Q6 のヒント (比例計算) 考え方: $100\text{mL} \rightarrow 109\text{mL}$ (比率: 1.09倍) $200\text{mL} \rightarrow 200 \times 1.09 = ?$ または: 109×2	Q16 のヒント (世界最大の国) 地理知識: ユーラシア大陸北部
Q7 のヒント (temperature) 語源: thermo- = 熱 答え: B (温度)	Q17 のヒント (第二次世界大戦終結) 歴史知識: 1945年 8月15日 (日本では終戦記念日)
Q8 のヒント (論理: 逆は必ずしも真ではない) 論理構造: $P \rightarrow Q$ (雨が降る → 地面が濡れる) Q が真のとき、P は? → P かもしれないし、P でないかもしれない 「地面が濡れている」からといって「雨が降った」とは限らない。スプリンクラー、水撒きなども考えられる。	Q18 のヒント (割引計算・逆算) 考え方: 定価 $\times 0.8 = 800\text{円}$ 定価 = $800 \div 0.8$ 20%引き = 80%で販売
Q9 のヒント (正方形の周長) 公式: 周長 = 辺 $\times 4$ $7 \times 4 = ?$	Q19 のヒント (英文読解・沸点) キーワード: • boils = 沸騰する • 100 degrees Celsius = 100度
Q10 のヒント (漢字の読み) 復習しよう: 漢字の読み書きは継続して練習が必要だね。「歴史」→ れきし	Q20 のヒント (面積の差) 計算: 大きい正方形: $10 \times 10 = 100\text{cm}^2$ 小さい正方形: $6 \times 6 = 36\text{cm}^2$ 色付き部分: $100 - 36 = ?\text{cm}^2$

発展的なアドバイス

論理問題のコツ: 条件を図や記号で整理する。「必ず」「かもしれない」の違いに注意。

計算問題のコツ: 式を書いてから計算。単位を忘れずに。

IT的なアプローチ: パターンを見つけたら一般化してみる。アルゴリズム的に手順を整理する。